

愛媛県知事 中村時広殿

2011年3月12日

原発さよなら四国ネットワーク

伊方原発反対八西連絡協議会

(連絡先 大野恭子 tel 089-933-4237)

緊急要請

伊方原発を即刻停止するよう要請します。

M8.8の東北・関東巨大地震の現実から伊方原発の危険が現実味を帯びてきました。

国は、原子力緊急事態宣言を出しました。そして、福島第一原発の1号機で、原子炉格納容器内の圧力を抑えることができず、放射性物質を含んだ容器内の空気を大気中に放出することを始めました。

原発震災です。

伊方原発沖の活断層も今まさに活動期にあり、M8以上の大地震が学者により警告されています。しかるに愛媛県は、伊方原発訴訟での論争や市民からの度重なる申し入れ、県議会での一般質問の問題提起など検証することなく、四国電力の耐震性の安全確認の申請を受けいれてきました。

「伊方原発は基準地震動570ガルを確保している。」と県は答弁していましたが、今回2000ガルを超える地震動を記録しているのです。

東京電力によると、福島第一原子力発電所の敷地境界にある、環境中の放射線を測る装置、モニタリングポストは8カ所とも機能していないといっています。中央制御室の放射エネルギーが通常の1000倍以上に上昇しています。

福島の方々、原発施設内で働いている人たちが心配です。

取り返しのつかない事態です。

だれも責任を取ることができません。

地震大国日本では、この状況は全国すべての原発で起こり得ます。その上、プルサーマル運転を始めた伊方原発の危険性は考えるだけでも恐ろしいものです。

中村知事、どうか私達の命と生活を守ってください。

県知事の権限である「伊方原発停止」を宣言してください。